

西土佐支所管内より



田辺さんの自宅。元気なサボテンが出迎えてくれます。

9月初めから栗の収穫が始まると同時に、ぼっぼ栗の販売に各地へと赴きます。シーズンが来ると待ちわびた客から道の駅などに販売日の問い合わせがあったり、常連客も増えました。今では浩一さんが主に栗の剪定等を行い、ぼっぼ栗販売も引き継ぎました。これからも、「おいしかったよ」という声を励みに、全国各地へ四万十の栗「ぼっぼ栗」を届けます。

四万十の栗

「ぼっぼ栗」食べて♪

田辺 元美さん(75歳)

四万十の栗をそのまま味わってほしいと、各地域のイベントや道の駅などで焼き栗「ぼっぼ栗」を販売しています。ぼっぼ栗の名前の由来は、焼き栗専用の釜のデザインがSL蒸気機関車に模したものがあり、出来上がり蓋を開けると釜から蒸気が出ることから。皮に少し切り目を入れて釜へ入れ、15分程でできあがり。

きっかけは栗の産地である西土佐や十和・大正で、生産者が減り始めたことから四万十の栗を盛り上げたい思いがありました。夫の一夫さん、息子の浩一さんら家族と約130アールに730本の栗を栽培しています。

歩くことを日課にしています！

1日5時間20km！

濱田 頼之さん(75歳)

宿毛市橋上町にお住いの濱田さんは1日に約20kmを歩きます。台風以外は毎日、午前と午後の2回に分けています。歩くコースは慣れ親しんだ地元の道。同市自主防災会連絡協議会の会長もしていることもあり、川や道路、山崩れなど異常がないか見ながら歩くそうです。また、JAの運営委員もして頂き忙しい中の運動です。きっかけは椎間板ヘルニアで通院する中、医者に筋肉をつけるよう促されたことでした。今では、県内の利用者が毎月ランキングされるスマートフォンアプリ「スポーツタウンWALKER」で1位の常連者となり、腰の痛みもすっかりなくなりました。

歩くうえで好きな季節は、山の色が変わり、木の実、鳥や虫の声も聞こえる秋とのこと。これからも地域を見守りながら、季節を感じ運動を楽しんでくださいね。

宿毛支所管内より



幡豆地区

から こんにちは 今月の○○ 気になる人

大方支所管内より



イチゴ「おおきみ」を丹精込めて栽培しています

金子 光さん(46歳)

黒潮町蜷川で14アールに「おおきみ」を栽培しています。12月下旬より収穫を始め、5月いっぱい続きます。1月26日にテレビ局3局と新聞社1社が取材に訪れました。金子さんは日常の収穫の様子や選別した化粧箱につめる様子をていねいに解説。おおきみへの思いや、今後の目標など話しました。

また、金子さんのご両親もイチゴ農家で「サチノカ」を栽培しています。父のハウスでの作業を手伝ったりご自身の収穫をしたりと、この時期はおおきみだけでなく金子さん自身も引き合いが強くなりますね。



部員らで出荷準備大忙し

とみやま酒米生産部の皆さん

純米吟醸酒「とみやま」を販売するとみやま酒米生産部は四万十市大用の集会所で1月18日、商品と一緒に梱包しお届けする景品として、地元で栽培した米「ヒノヒカリ」精米約1kgと酒粕を各530袋の準備をしました。同部は酒米「吟の夢」を栽培する生産者で構成され、収穫した米を藤娘酒造(株)に出荷した後は、遠方への発送から地元の購入者への配達なども行います。商品だけでなくおまけとして付くので、購入したオーナーはそれも楽しみにしています。

また、地元の大用中学校は今年の学校新聞コンクールで金賞を受賞しました。とみやまの酒米づくりの記事を掲載し、地元をアピール。地域をあげて活性化に取り組んでいます。

中村支所管内より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！

5 中村支所 JAグリーン四万十店 来客数60万人突破記念 ガラポン・くじ引き大抽選会



ガラポンをして楽しむ皆さん。

中村直販所組合は1月21日、22日の2日間、JAグリーン四万十店にて、来客数60万人突破を感謝し、ガラポン大抽選会を開催しました。具同店ではくじ引き抽選会を行いました。同店は令和3年4月に移転オープンし、同組合ら生産者の新鮮な野菜や自慢の加工品などを販売しています。同日合わせて農協商品券1万円2本を含む136本の豪華景品を用意したくさんの来場者で賑わいました。市川店長は「日頃から愛顧下さりありがとうございます。また、中村直販所組合を始め出荷生産者の皆様のおかげで、きれいで新鮮、旬の野菜などを提供できていることにも感謝申し上げます。これからも地域に喜ばれるお店を目指し従業員一同頑張ります」と話しました。

3 中村支所 イチゴ「おおきみ」テレビ放送 大玉で宝石のようなイチゴ



テレビ取材を受ける金子さん。

幡多地区管内で栽培しているイチゴ「おおきみ」が最盛期を迎え、同部会副部会長の金子光さんがテレビ取材を受けました。おおきみは1玉が平均35g以上と大玉で香りが良く糖度が高いのが特徴。中村支所おきみ部会は9人が所属し、約100アールで栽培しています。また、おおきみは高級イチゴとして販路を開拓。出荷の多くは東京、大阪の百貨店やシンガポールやタイなど6カ国・地域に輸出をしています。黒潮町で14アールを栽培する金子さんのハウスでは本格的に収穫が始まり、家族で大忙しとなりました。金子さんは「フルーツキャップで包み化粧箱に詰める作業など栽培も含めて丁寧に行う。香りのよさや甘く大きなおおきみぜひ味わってほしい」とアピールしました。

6 中村支所 田植えからあん餅作りまで体験 四万十市立八束小学校5年生



上手にあん餅をつくる児童の皆さん。

青壮年部中村支所は八束小学校で1月31日、もちつき体験とあん餅作りを行いました。同支部は、5年生の総合学習として6月下旬に田植え、10月下旬に稲刈りを行い、収穫したもち米でもちつき等、農業を体験する食農教育活動を毎年行っています。同支部副部長の山崎秀和さんがほ場の提供など子ども達の貴重な体験の助けをしています。あん餅は、地元で餅屋を営む「藤田屋」さんが餅に入れる餡を提供してくれ、餅つくりの指導もしてくれました。子ども達は「力が必要だったけど楽しかったや」「協力してよかった。家族と一緒に食べたい」と話しました。

4 幡多地区 女性大学すてっぷあっぷコース 革細工教室開催



ポーチ作りをする受講生の皆さん。

第5回目は1月18日、Charm松田千穂さんを講師に迎えてポーチ作り。10種類の色の中から好みの物を選びました。チャックも縫い付けることから、時間をかけ受講生の皆さん各々が丁寧に取り組み、丈夫で素敵なポーチが出来上がりました。この日が最後の講座のため修了式も執り行い、受講生らは「どの講座も楽しかった。また受講したい」と話しました。



出前授業、もちつき、イチゴ大福つくりと盛りだくさん。

1 宿毛支所 4Hクラブが 小筑紫小学校出前授業 青壮年部幡西ブロックも協力



「宿毛市の若手農家で構成する「宿毛4Hクラブ」は1月28日、同市立小筑紫小学校にて、出前授業と餅つき体験、大福つくりを行いました。餅つきにはJA高知県青壮年部幡西ブロックが協力。生徒や保護者、同クラブ会員や幡多農業振興センター、同市、JAなど約140人が参加しました。同クラブは青空レストランを開いたり、ジャガイモの植えつけや収穫体験、出前授業などを通して子ども達の農業への関心を高めようと活動しています。この日も尾崎公帝さんが、同クラブの3つの目的である「農業のイメージを変えること」、また「食育の大切さを伝えること」、農業への関心を増やすこと、などを説明しました。また、生産者目線からフードロス削減を呼び掛けました。その後、児童全員が餅つきを体験し、同市農業公社「スタートアグリカルチャーすくも」が持ち寄ったイチゴ「さがほのか」を使ってイチゴ大福を作りました。6年生は「食材一つ一つ大切にしたい。みんなで協力して餅を作って楽しかった」と感想を話しました。同小学校校長の森和也先生は「食育授業では子どもだけでなく保護者の皆さんも一緒に聞くことができよかった」と話しました。



剪定を実演し解説しています。

2 西土佐支所 剪定なくては良いものはできない 栗部会 剪定講習会



西土佐支所栗部会と高知県栗樹研究協議会は1月19日、現地検討会および剪定講習会を開きました。生産者、県栗樹試験場職員、幡多農業振興センター、JA職員ら約40人が参加しました。昨年の講習会で「心抜き開心自然形」に仕上がるよう剪定講習会を開いています。今回も同部会の田辺次男部会長の園地で、その心抜きに続けての剪定作業を行いました。栗の品種「みくり」5年目の木を、栗果樹試験場職員が剪定する枝を説明しながら切り落としました。北幡営農センターの芝上賀彰指導員は「枝が大きくなると剪定に躊躇する。早いうちから剪定や誘引をしてしっかり骨格を作る事が大事」と説明。田辺部会長は「剪定なくては良いものはない。自分で切ってみると興味を持ってくる。少しでも覚えて」と呼びかけました。

初心者（家庭菜園）向け

里芋



栽培のポイント

- 種芋は40～50gの大きさの丸いものを購入する事。
- 深植えをしない事。
- 連作障害が出やすいので、栽培後は3～4年休閑する。

【栽培暦】 △:定植 ー:生育 ■:収穫

作型	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画				△								
				第1回 土寄せ	第2回 土寄せ	第3回 土寄せ						

① 圃場準備、植えつけ種芋準備

- 植える2週間くらい前に、畝の長さ1m当たり堆肥4～5握り、油粕大さじ3杯、化成13号大さじ3杯を施し、土をかける。畝幅90cm、植える溝は深さ、幅ともに15cm程度。株間30～40cmで芽の出るほうを斜め上に向け植えつける。覆土の厚さは7～8cm。

★種イモは丸い形が良い（タマゴ型）



② 追肥

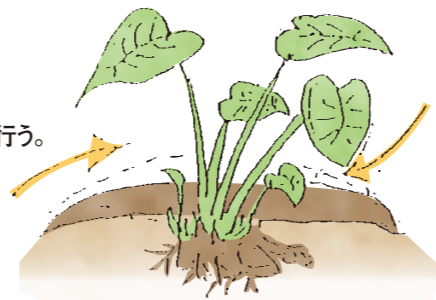
- 第1回 5月下旬から6月中旬に土寄せに先立って畝間に軽く溝を作って施す。（1株当たり化成13号大さじ2杯）
- 第2回 6月下旬～7月上旬に第1回と同量を反対側の畝間に施す。

③ 土寄せ

- 1回目 第1回目の追肥後すぐ、肥料を埋めるように通路の土を5cm厚さで株元に寄せる。
- 2回目 第2回目の追肥後、小イモの芽を埋めるように1回目と同様に土をよせる。
- 3回目 2回目の土寄せから2～3週間後、同様に土を株元に寄せる。

④ 灌水

- 日照りには特に弱い作物で乾燥が続く時は、株元にたっぷり水やりを行う。



⑤ 収穫

- 8月中旬、イモが直径2cmくらいの時に探り掘りをして取ると、「きぬかつぎ」が楽しめる。
 - 11月ごろ、あらかじめ地上部を刈り取ってから掘り上げる。
- ※きぬかつぎ・・・サトイモの小イモを皮のまま茹でる、または蒸したものを。その皮を剥いで食べる。

役立つ! 得する! 情報 えいのうへ

■ 幡多農業振興センター 市川 智啓（電話 0880-34-7070）

SAWACHIで 広がるデータ駆動型農業!

登録ユーザーが続々増加中!

高知県は、県内の農家の方を対象に営農情報をスマホで確認できる便利なツール『SAWACHI』を開発しました!

『SAWACHI』は、県内で営農活動を行っている方であれば、誰でも無料で使用することができます。

『SAWACHI』を使って、データを活用した農業と一緒に取り組んでみませんか。

スマホがあれば 営農に必要な情報を一目で確認できます!

- ① 出荷量、A品率※1
- ② 市場の値動き
- ③ ハウスの環境データ※2
- ④ 地域の天気予報
- ⑤ 最新のニュース など

出荷量・A品率を自分で 集計せんでえいけん、楽やねえ!

天気予報も 某ニュースサイトより 当たっちゃう気がする!

※1：対象品目に限ります
※2：SAWACHIに対応した環境測定装置が必要となります

農家間で温湿度などの データが比較できるようになりました!※3

データの比較が簡単やけん、 自分の温湿度管理のクセが分かるねえ。 収量アップ目指して、 篤農家や病害の少ない農家の管理を 参考にしようで!

ハウスの 異常時には メールで お知らせ!

※3：データ比較には グループ内での合意形成が必要です

JA営農指導員や 普及指導員がしっかりサポートします!

スマホの操作が苦手でも大丈夫!

申し込んで約1ヶ月後に使えるで。 使い方が分からなくても、JAや県の職員が丁寧に 教えてくれるけん大丈夫やあ!

Welcome to SAWACHI

出荷量 (最近) 2022/12/16

171.1kg

A品率 55% (先々週) → 56% (先週)

出荷量 (最近) 2022/12/16

現在状況 重塩1

温度 9.7 °C	湿度 94.0 %
CO2濃度 1,035 ppm	日射量 0.0 W/m2

代表地点: 大方

12/20(水)	16	17	18	19	20	21	22
天気	☀	☀	☀	☀	☀	☀	☀
降水	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm	0mm
風向	2ms	2ms	2ms	2ms	2ms	2ms	1ms
気温							

幡多農業振興センター
担当: 佐藤 敦彦
連絡先: 0880-34-7070

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

「お米・ごはんへの素直な気持ちを表現」

亡き母の思い出はおこげのおにぎり、遠距離時のまきずし、父がふち置きでとった鮎の鮎ずし。お米にまつわる物が多いです。

(中村支所管内・78歳)

高知県コンクールの企画は、子ども達にごはんや米づくりに目を向けてもらい、向き合ってもらおうよい企画だと思いました。絵や作文を見て感心しました。

(中村支所管内・65歳)

ごはんのおいしさが伝わってきて良かったです。

(佐賀支所・60歳)

年を取るとやっぱりがはんが一番おいしく思います。絵もとても良くかけていました。

(中村支所管内・84歳)

▼1月号の企画では、18、19ページの「お米・ごはんへの素直な気持ちを表現」が良かったというおたよりをたくさん頂きました。おにぎりと言っても、ご家庭で味や形、握り加減などさまざま。まさに十人十色ですね。皆さんに「我が家の味」があると思います。コンクールの作品では、ごはんやお米、それにまつわる家族のつながりや気持ちの純粋に書かれていて、私も心が温かくなり改めてありがたさを感じました。

川柳・短歌コーナー

冬は大根、人参、ネギ、シヨウガなど、捨てる所を利用してスープを作っています。夏はゴーヤ、小松菜、トマトなどでジュースです。75歳になりましたけど体調バツグン。

(中村支所管内・75歳)

▼栄養たっぷりのスープですね。また、夏のジュースも、野菜の名前を見るだけでさっぱり、夏バテもどこかへ逃げていきそうです。元気の源！食品ロスなし！私も見習います。

うさぎどし ゆっくりピョンピョン
まいろうか

(中村支所管内・64歳)

お米大好き おにぎりパワーで 福来る

(宿毛支所管内・55歳)

県境 越えて手話の 花が咲く

県境 行ったり来たり 手話学ぶ

(西土佐支所管内・67歳)

木枯らし吹く 家路へ急ぐ 母の鍋

(宿毛支所管内・75歳)

ラジオから 昭和の艶歌 年くるる

(大方支所管内・83歳)

たくさんの 太陽に似た 文旦は
一つぶの味 寒にしみいる

(宿毛支所管内・81歳)

令和5年度定期戸配送車の再編について（お知らせ）

令和5年4月より、幡多地区管内の戸配送の再編を下記の通り行うこととなりました。

人口減に伴う戸配送の減少や、不祥事未然防止に伴う現金取引の規制、また、燃料費等配送コストの上昇など経営健全化に向け見直しが必要な状況となりました。

ルート再編につきましては、組合員・利用者の方々にはご不便をおかけ致しますが、ご理解をよろしく願います。

月	火	水	木	金
大方・大方南部	三崎・下ノ加江	大方・大方南部	佐賀・大方	三崎
佐賀		佐賀	中村東部・北部	中村・中村南部
大月 姫ノ井	橋上・山奈	大月 姫ノ井	平田・三原	宿毛・小筑紫
		西土佐	十和	大正